

〔科目名〕 ACB 演習				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目		
〔担当者〕 香取 真理						〔授業の方法〕 演習		
〔演習テーマ〕 「ことばと文化」について考える。更に総合的な英語運用能力の向上を目指す。								
〔演習内容〕 「ことばと文化」について考える。「ことば」とは何か、「ことば」の発達、進化、変化と「文化」との関わりについて考える。また、文字の歴史・ことばの歴史などについて参考資料を基に考察・ディスカッションを行う。秋学期からは、それぞれがテーマを決めて、調査・分析を行う。2月上旬にはそれまでの各人の研究成果を報告する。報告会では英語でプレゼンテーションを行い、その成果を発表要旨集にまとめる。また本演習では、1年間の演習を通し、既に身に付いている基本的な英文法や構文を効果的に活用し、多様な状況で、コミュニケーションができる英語運営能力を目指す。								
〔科目の到達目標〕 ことばと文化の関係性、関連する歴史等について理解する。多様な状況で話題が特定分野にわたっても、自分なりのコミュニケーションができる英語運営能力を目指す。								
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕								
学部				学科				
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3		
	○	○	○					
〔前提条件〕 なし								
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 演習への積極的参加・研究発表会での発表・発表要旨提出・TOEIC Speaking IP 受験 等から総合判断。								
〔教科書等〕 演習時に示す								
〔実務経歴〕 特になし								
授業スケジュール								
時期	テーマと内容							
4月～ 9月	<p>「ことばと文化」について考える。「ことば」とは何か、「ことば」の発達、進化、変化と「文化」との関わりについて考える。また、文字の歴史・ことばの歴史などについて参考資料を基に考察・ディスカッションを行う。</p> <p>同時に、基本的なビジネス英語のフレーズや表現等を再確認しながら、毎回英語スピーキングの練習を行う。具体的には、多様な状況を設定しての英語での意見交換や模擬会議、模擬会議の司会、質疑応答等の練習を行う。</p>							
10月～ 1月	春学期間の演習を基に、自分の調査・研究テーマを決める。担当教員と相談しながら調査・研究を進める。並行して、英語プレゼンテーションの練習を行う。							
2月	研究発表会で発表する。 発表内容をまとめて製本する。							